jQuery の基本

jQuery は javascript のライブラリの一つで、webの世界で非常によく使われています。

コーダーを目指す場合、html や css の操作等簡単なものは出来るようになっていないと不利になる可能性があります。

ここでは基本的な部分について説明します。

jQuery は javascript のライブラリですので、<head> 内や <body> 内に書くときは <script></script> 内に記述します。

<head>内に書くと html より先にブラウザが読み込みサイトの表示がその分遅くなることから、記入する場所がどちらでも構わない時は </body> の直前に書くのが主流となっています。

jQuery を使用する時は、jQuery が使えるようになるプログラムを先に読み込む必要があります。

これは これは に対して付い、プログラムファイルをDLして相対パスで読み込むか、外部にアップデートされているファイルを読み込みます。

(例) 外部よりバージョン 1.11.3 を読み込む <script src="http://ajax.googleapis.com/ajax/libs/jquery/1.11.3 /jquery.min.js"></script>

jQuery のバージョンについて

jQuery のバージョンとして大きく分けて 1.x 系、2.x 系、3.x 系の 3 種類があります。 それぞれ以下の考え方で作成されています。

· 1.x 系

古いブラウザに対応(IE6 \sim 8、Opera12.1x、Safari5.1 \sim) そのためファイルサイズが大きくなり、処理が遅い

· 2.x 系

IE9 以降、android4.0 以降、iOs7 以降の Safari、その他主なPC用ブラウザの最新バージョン及び 1 つ前のバージョンに対応

· 3.x 系

対応ブラウザは 2.x 系と同様ですが、2.x 系が 1.x 系から処理速度 向上のため古いブラウザ対応しなくしている同時開発バージョン なのに対し、こちらは設計段階から古いブラウザを切り捨てて 新たに開発されたバージョンとなります。

そのため、2.x 系から一部が仕様変更されています。

・3.x 系で使えない主な記述

 $. load(function() \\ \verb|...error(function() \\ \verb|...err$

上記の対応は

.on("load",function()

のように .on で行う。

・3.x 系の主な仕様変更 .hide()、.show()、.toggle() これらは使えますが機能が制限され、css の display を使用しての

操作が推奨されています。

前ページで記載したように、jQuery には大きく3つのバージョンがありますが、基本的に読み込めるバージョンは1つとなっています。これは、jQuery の命令にはつきものの「\$」がjQuery を使うことを意味しており、使うjQuery のバージョンは指定できない為です。(javascript のプログラムを利用して複数読み込むことは不可能ではありませんが、効率的とは言えません)

現在、lightbox や bxslider などw e b上でたくさんの jQuery で作られたプログラムが無料で使えるようになっていますが、上記のとおり jQuery のバージョンは 1 つしか読み込まないので、どのバージョンを使用するかについては旧ブラウザ対応も含めて考えていく必要があります。

(複数のバージョン読み込みは、web から無料で DL したプログラムを使用する場合、プログラム内の「\$」をすべて書き換える必要も生じてくるため、現実的ではありません)

基本的な jQuery の記述

```
<script>
   $(function(){
      ここに処理の記述をする
  });
</script>
と記述します。
これは
<script>
   $(document).ready(function(){
      ここに処理の記述をする
  });
</script>
と同じ意味であり、html 文書 (document) が準備ができたら
(ready) 処理を行うという意味になります。
html 文書と書きましたが、画像はダウンロード終わっていない
段階になることに注意してください。
```

また jQuery では \$ がよく出てきますが、これは最初に読み込んだ jQuery のプログラムを使用していることを示しています。

その他のタイミングについては、イベントのページで説明します。